

石川県の新たな酒米品種「百万石乃白」の 栽培講習会を開催しました！

石川農林総合事務所

石川県が11年の歳月をかけて開発した酒米の新品種「百万石乃白」の本格栽培が令和2年産からスタートしました。この品種は、大吟醸酒向けで、県内酒蔵からは生産の拡大が期待されています。令和2年産の栽培面積は、県全体で約24haを見込んでいます。

そのうち、石川農林総合事務所管内の栽培面積は8.9haで、県全体の約3分の1の作付けとなっています。

県では、新たなブランドとして確立するため、高品質な「百万石乃白」の生産が求められており、当事務所では、大吟醸酒用酒米として求められる品質や栽培方法のポイントについて、計6戸の生産者に対し、3月9日に講習会を開催しました。

生産者からは、熱心な質疑や活発な意見交換が行われ、「百万石乃白」の高品質生産に向けて意識の高揚を図ることができました。

当事務所では、今後も、育苗巡回や研修会・ほ場巡回等を通し、生産者、関係機関一丸となって高品質な「百万石乃白」の生産に取り組んでいきます。



問い合わせ先：農業振興部（076-276-0371）